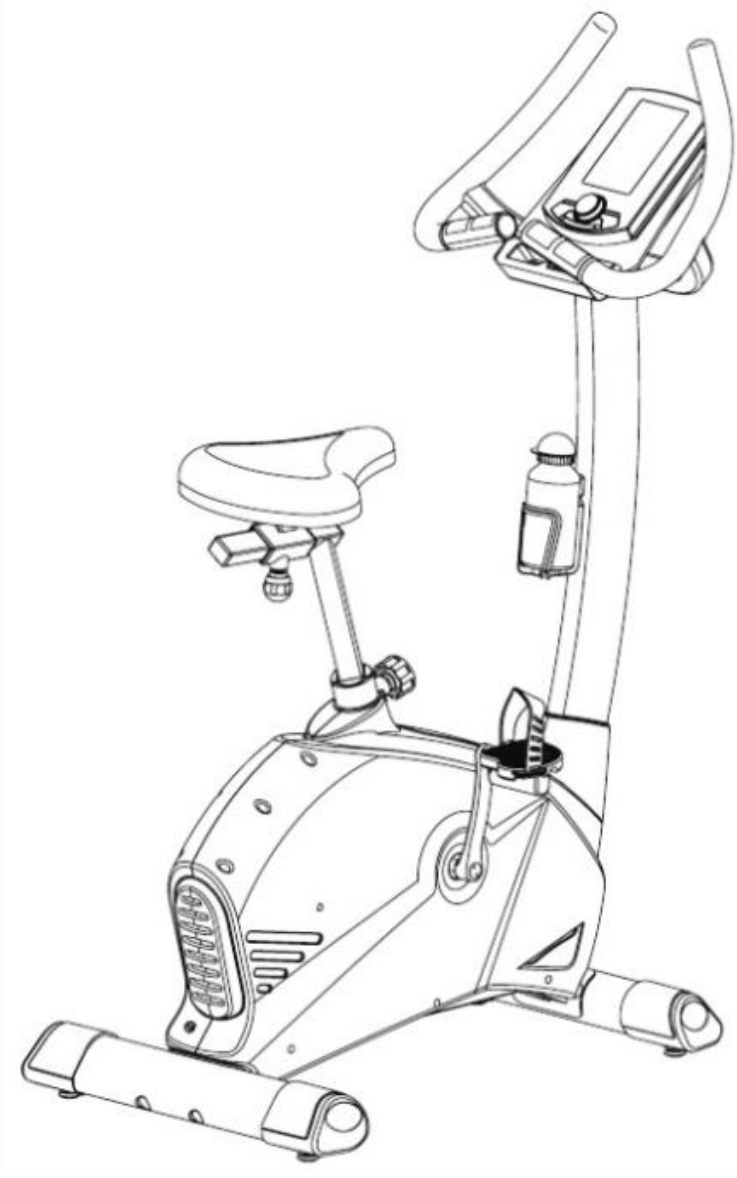
マグネットバイク　　Item No:Ｂ８７０Ｐ

取　扱　説　明　書



この度は、本商品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
組立及びご使用になる前は、必ずこの説明書をお読み頂き正しくお使い下さい。
取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管して下さい。

安全にご使用いただくために

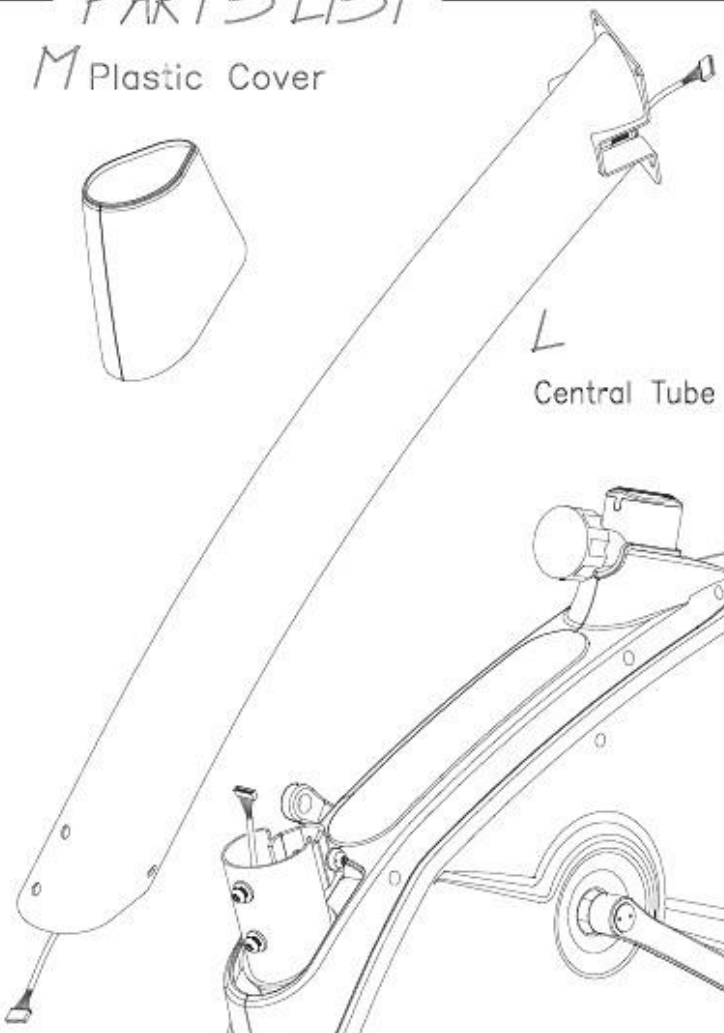
① ご使用前に各部のボルト・ナットが完全に固定されているか、ゆるみやガタつきがないか確認して下さい。
② 本製品の電子部品に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。また湿気の多い場所でのご使用は避けて下さい。誤作動や電子部品の破損の原因となります。
③ 平坦な床面に安定した状態で設置し充分に動く事が出来るスペースをとってご使用下さい。ご使用にあたっては、周りに人（特に幼児）が居ない事をご確認下さい。
④ ご使用の際は、運動に適した服装・シューズを着用して下さい。
⑤ 運動を始める前・後は筋肉を傷つけない様にウォーミングアップ、身体を休ませる為にクールダウンを行う事をお奨めします
⑥ 本製品の分解・修理・改造は絶対にしないで下さい。
⑦ 飛び乗りや飛び降り、横向き・後向きでのご使用、複数人でのご使用もお止め下さい。
⑧ 運動中に目まいや吐き気、その他身体に異常を感じたら直ちに運動を止めて下さい。また、体調が優れないと感じた場合にはトレーニングを中止してください。
⑨ 本製品にお子様を乗せたり、悪戯をさせない様にご注意下さい。
⑩ 本製品には、重い部品や鋭利な部品がございます。成人が組立をして下さい。
⑪ 本来の目的以外では絶対に使用しないで下さい。
⑫ 本製品の連続使用時間の目安は、約 1 時間です。それ以上のご使用は故障の原因となる場合がございます。
⑬ 本製品は、体重１００ｋｇ以上の方のご使用はお控え下さい。

お手入れ上の注意

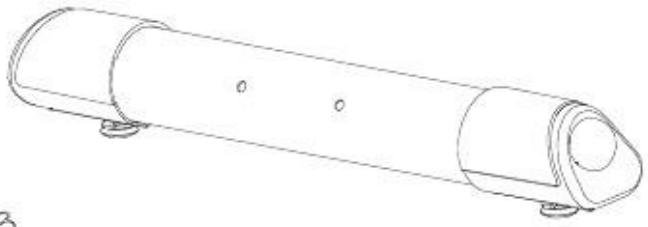
① 汚れや使用後に付いた汗等は、石鹸水を含ませて硬く絞った布で拭き、その後乾いた布で拭いて下さい。
② 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭いたりしないで下さい。
③ 油の塗布及び注油は行わないで下さい。

PARTS LIST

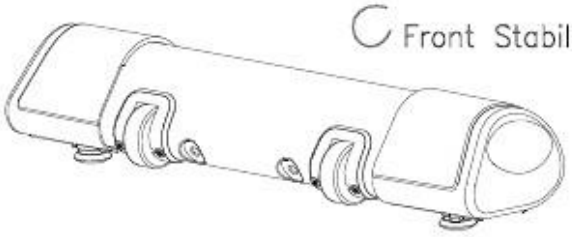
M Plastic Cover



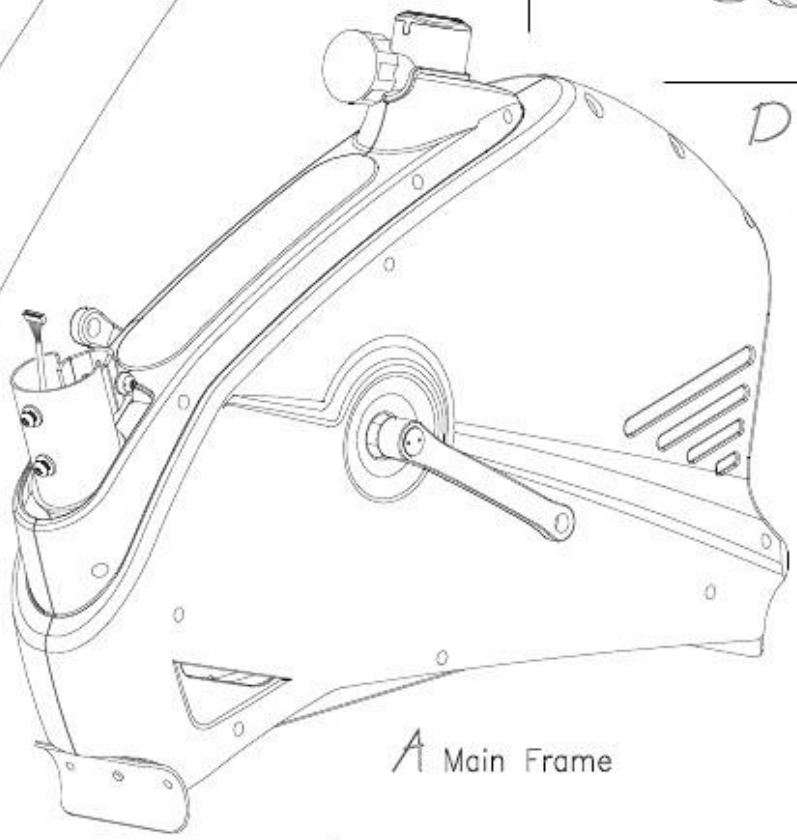
L Central Tube



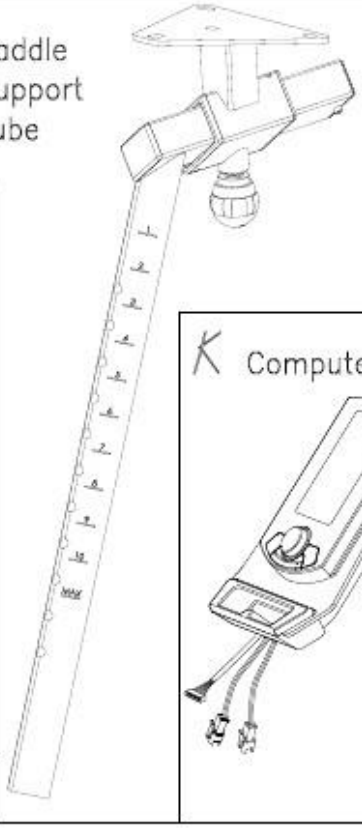
B Rear Stabilizer



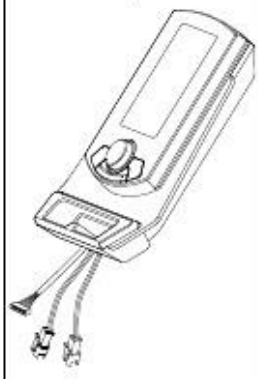
C Front Stabilizer



A Main Frame

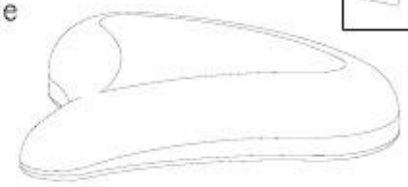


D Saddle Support Tube



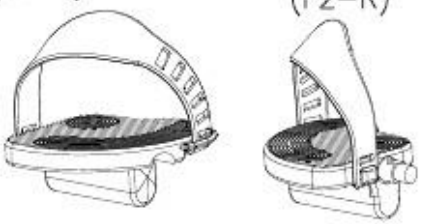
K Computer

E Handle Bar



G Saddle

(F1-L) F Pedal (F2-R)



H

(H2)Water Bottle

Tools

J (J1)Screw (J2)Washer (J3)Spring washer

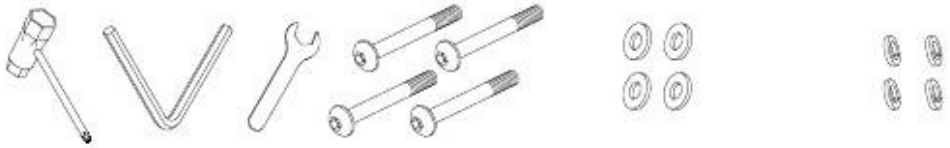


FIGURE 1

FIGURE 1

前脚を取り付けます。

本体（A）に前脚（C）をセットし、ボルト（J１）ワッシャー（J３）・スプリングワッシャー（J２）で固定します。

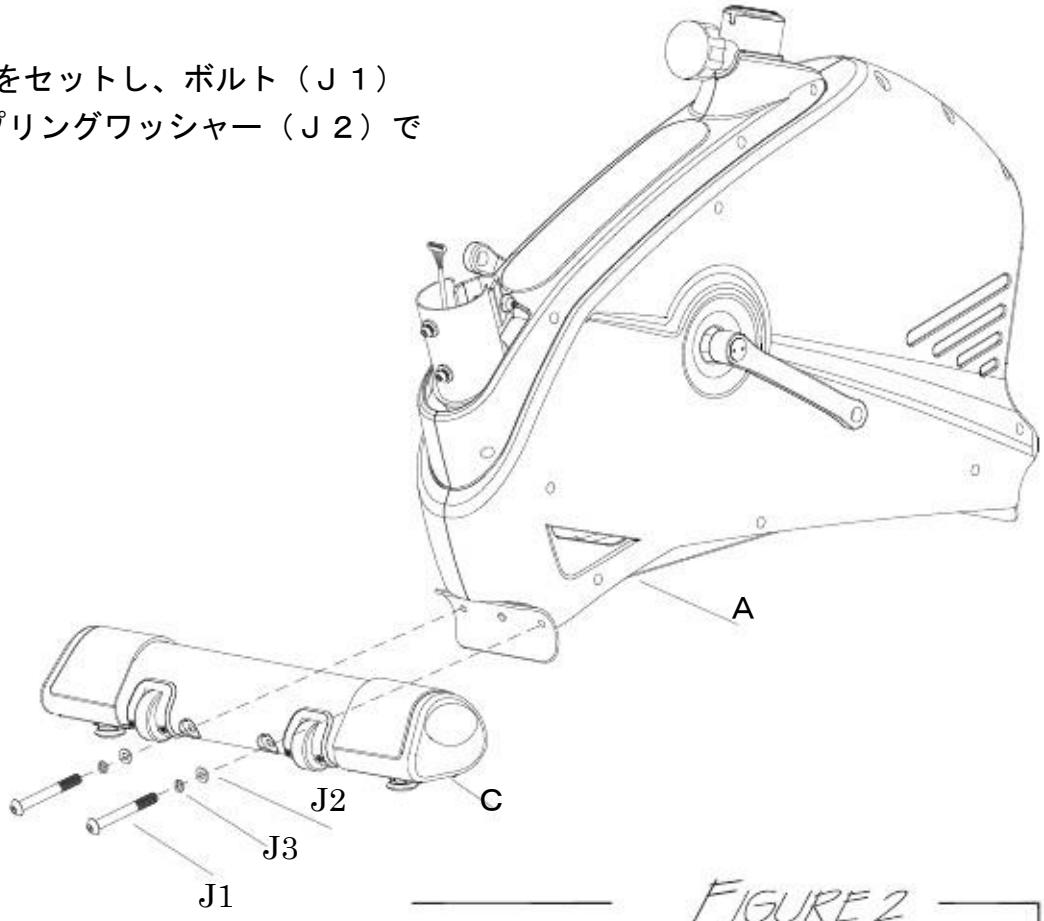


FIGURE 2

FIGURE 2

後脚を取り付けます。

本体（A）に後脚をセットし、ボルト（J１）ワッシャー（J３）・スプリングワッシャー（J２）で固定します。

※本体を設置した際、ガタツキがある場合には、前脚・後脚の下に付いている水平調整ボルト（K）で調整をします。

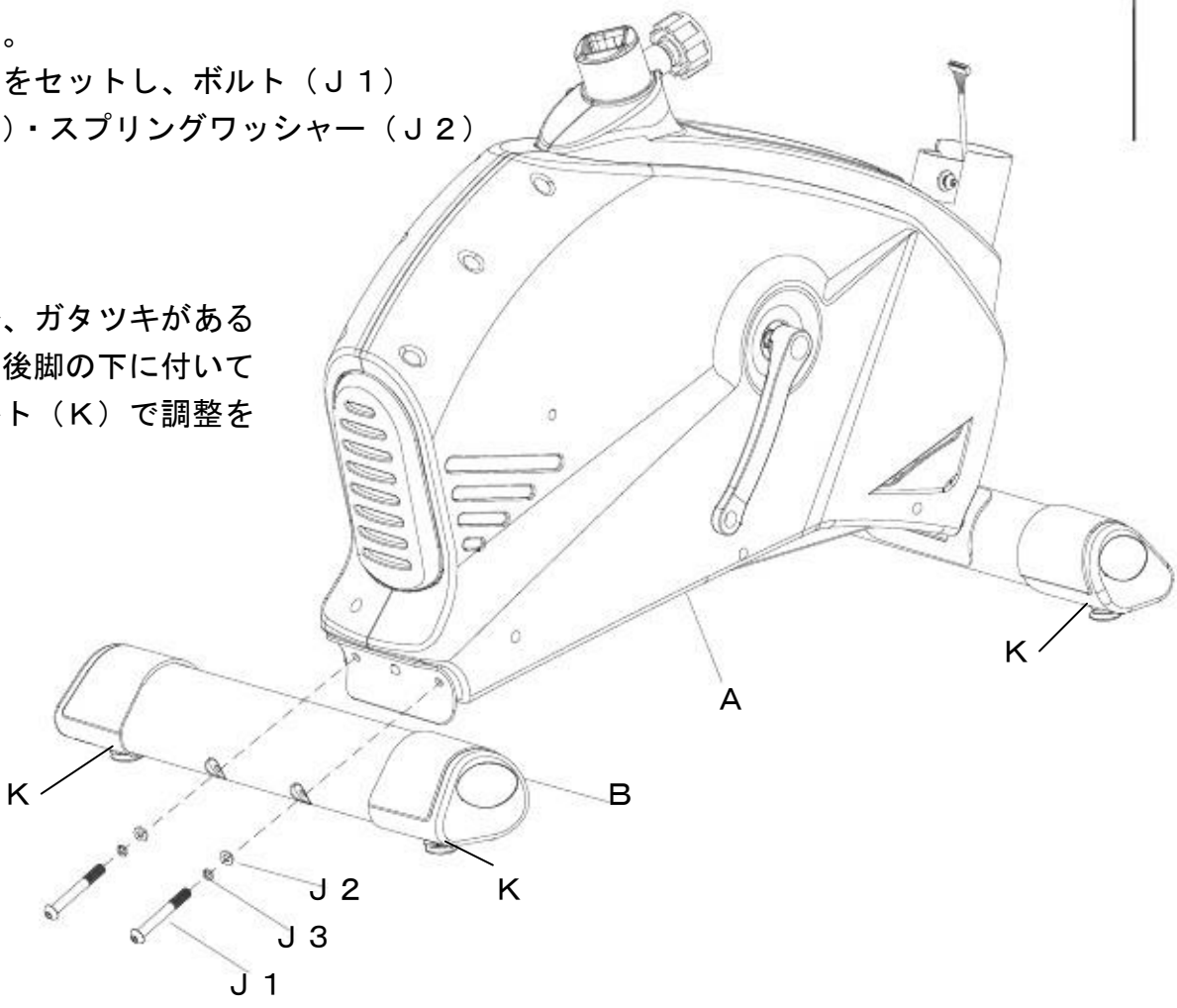


FIGURE 3

FIGURE 3

ハンドルポストを取り付けます。

１）本体に仮止めされているボルト（Ａ５）・スプリングワッシャー（Ａ３４）・ワッシャー（Ａ４）を外します。

２）ハンドルポスト（Ｌ）にハンドルポストカバーを入れます。

３）本体側のコード（Ａ７）とハンドルポスト側のコード（Ｌ１）を接続します。

※確実に接続されていない場合、表示パネルにデータが表示されない場合がありますのでしっかり接続して下さい。

４）ハンドルポスト（Ｌ）を本体に差し込みます。

３）にて接続したコードを挟まない様に注意して下さい。

１）にて外したボルト（Ａ５）・スプリングワッシャー（Ａ３４）・ワッシャー（Ａ４）で固定します。

ハンドルポストカバーを下げ、セットします。

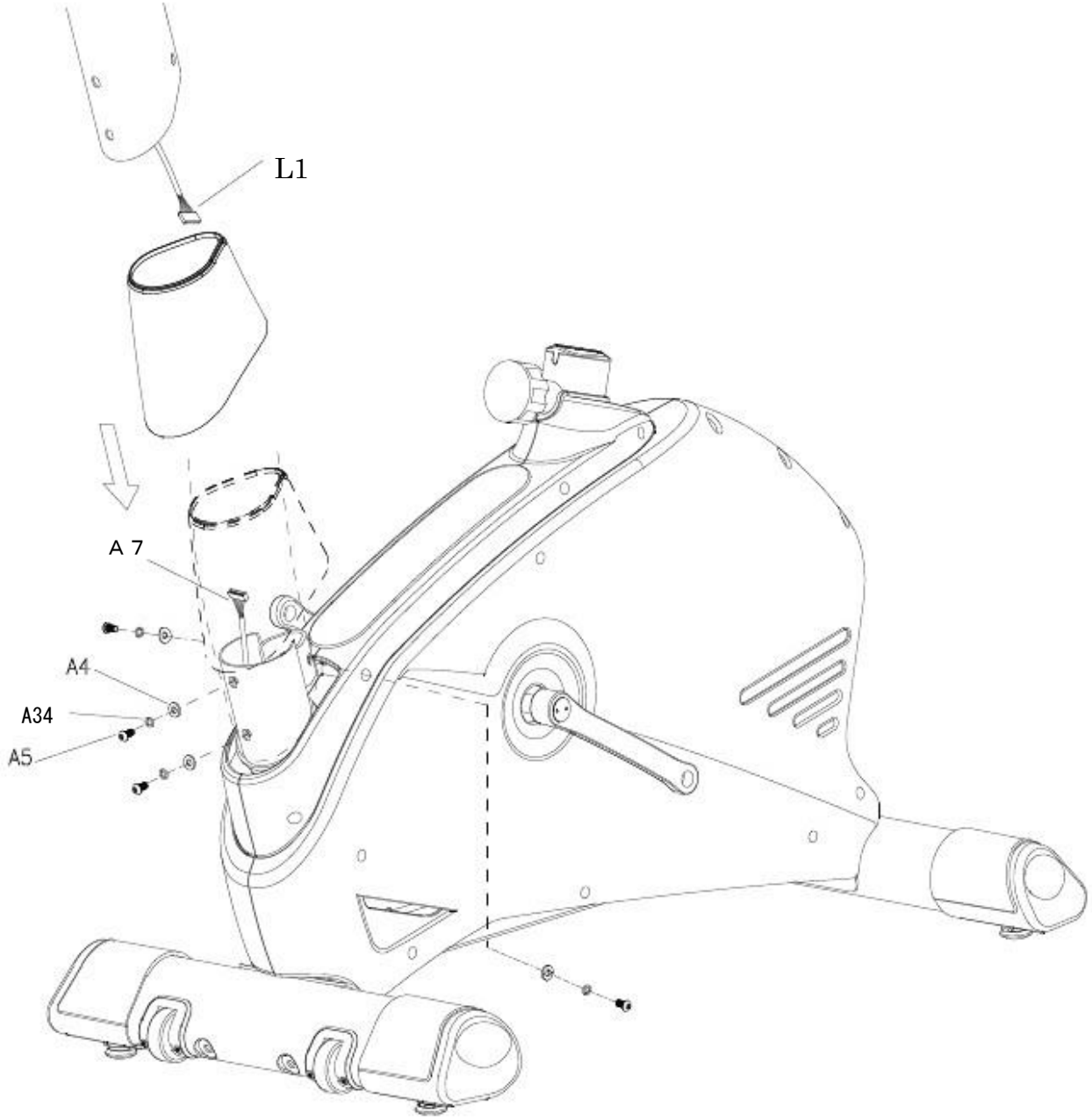


FIGURE 4

ハンドルバーを取り付けます。
ハンドルポストに仮止めされているナット（Ｌ２）を外します。ハンドルバーをハンドルポストに差し込みます。
外したナット（Ｌ２）で固定します。

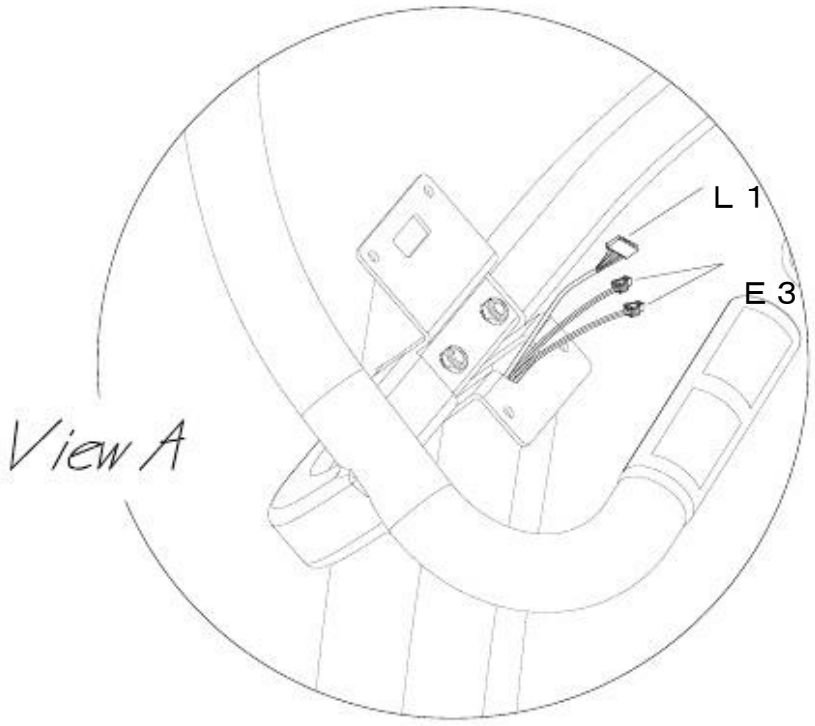


FIGURE 4

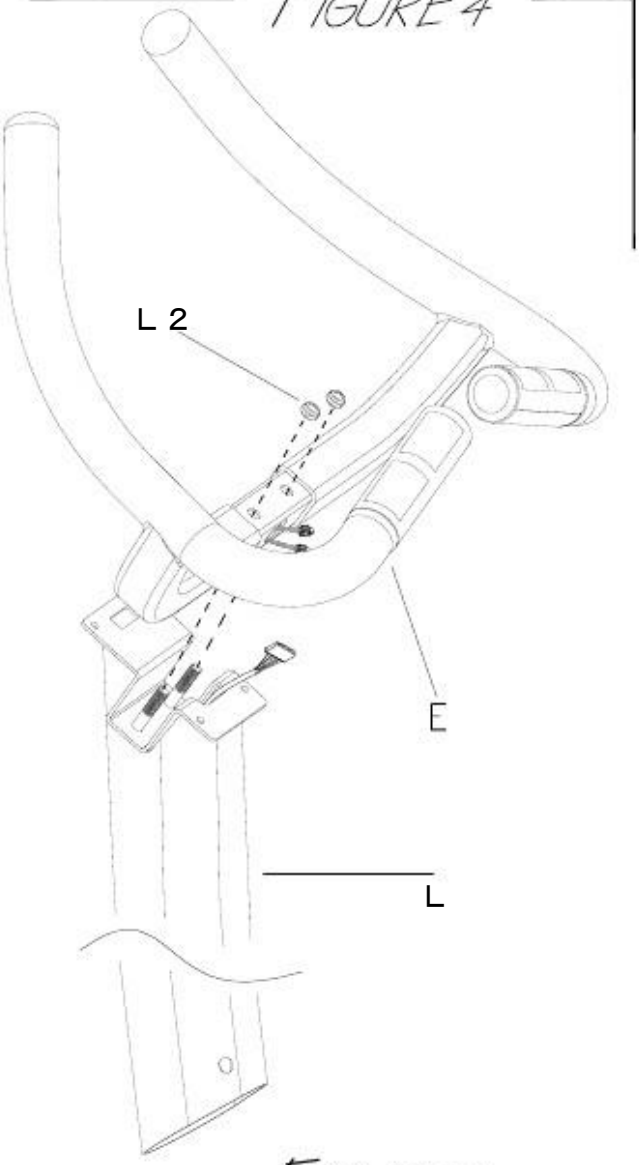


FIGURE 5

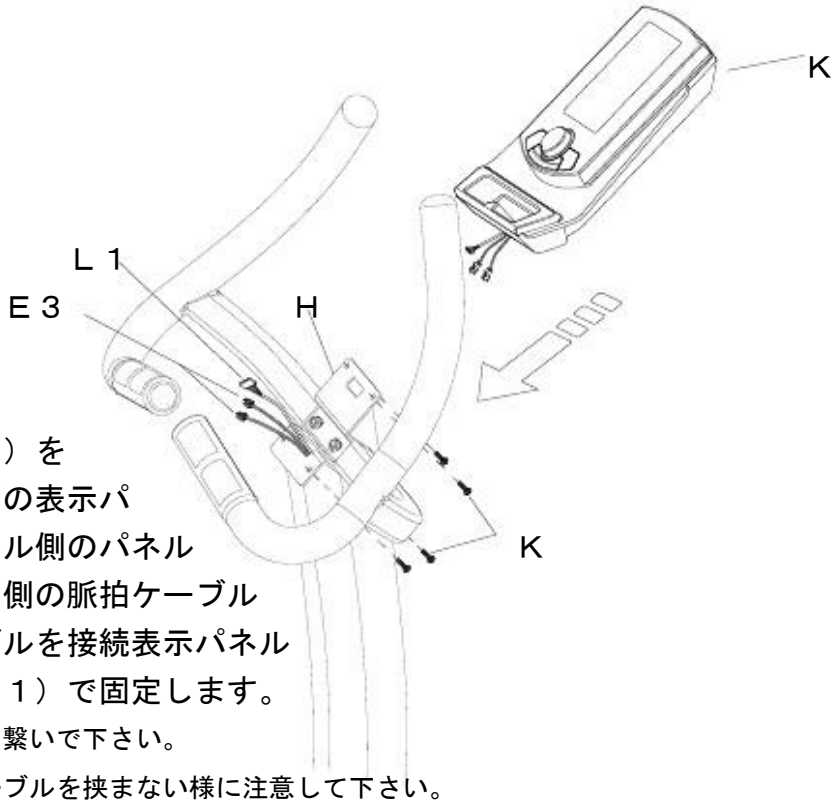


FIGURE 5

表示パネルを取り付けます。
表示パネル裏側からボルト（Ｋ１）を４本外します。ハンドルポスト側の表示パネルケーブル（Ｅ３）と表示パネル側のパネルケーブルを接続。ハンドルポスト側の脈拍ケーブル（Ｅ３）と表示パネル側のケーブルを接続表示パネルを台座に置き、外したボルト（Ｋ１）で固定します。

※ケーブルを接続する時は、しっかり繋いで下さい。

※表示パネルを台座に置く時は、ケーブルを挟まない様に注意して下さい。

FIGURE -1

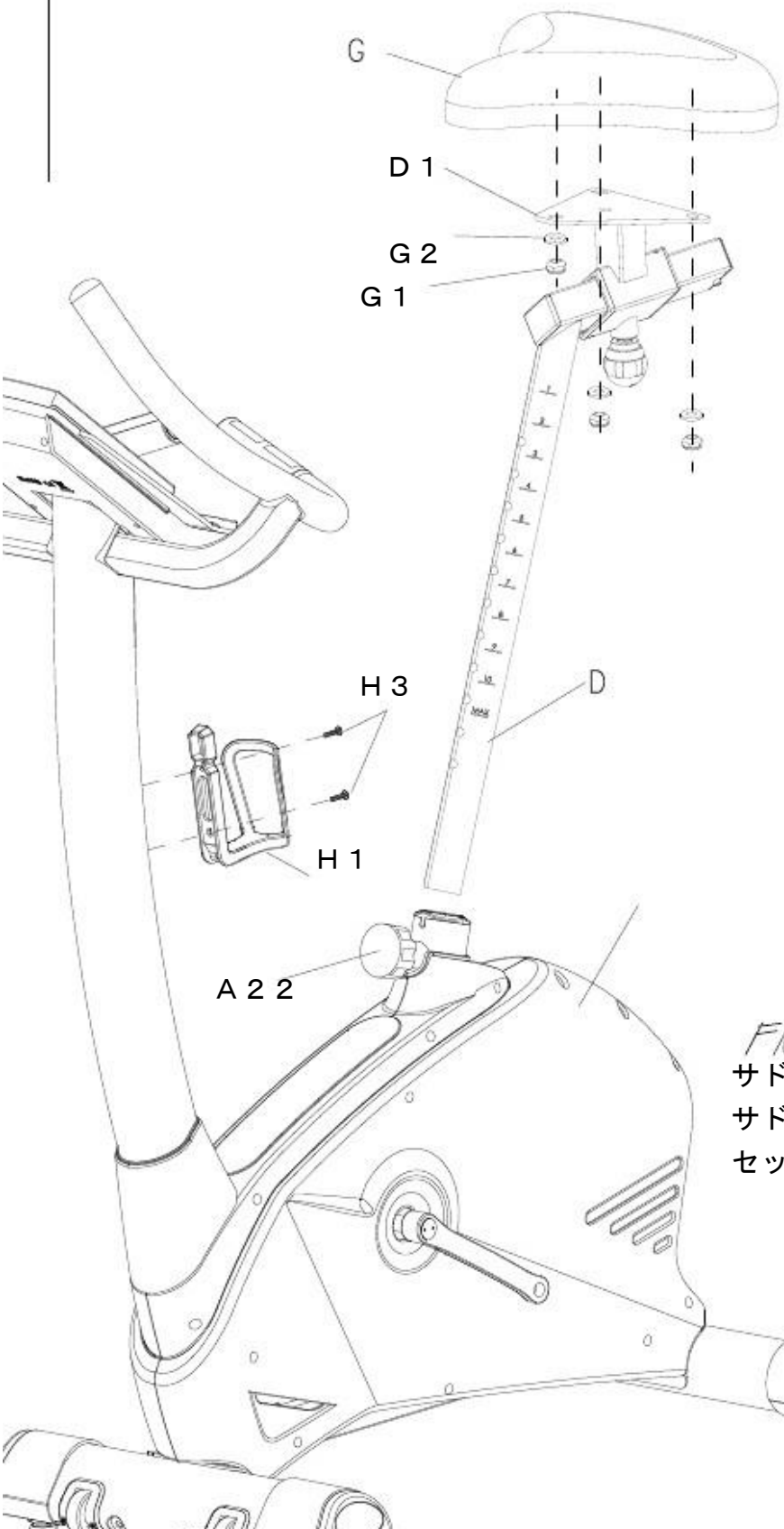
サドル・サドル取付台座を取り付けます。

STEP 1: サドル高さ調整ノブ（Ａ２２）を反時計回り（左回り）に回し緩めた後引っ張りサドルポストを本体に差し込みます。サドル高さ調整ノブを時計回り（右回り）に回し固定します。

Attention: サドル調整ボルトがサドルポストの穴にセットされているかどうか確認して下さい。

※サドルの高さを調整する場合も高さ調整ノブ（Ａ２２）を緩め、高さを調整し固定します。

FIGURE -1



STEP 2:

サドル（G）裏に仮止めされているナット（Ｇ１）ワッシャー（Ｇ２）を外し取付台座（Ｄ１）の上に置き、外したナット（Ｇ１）ワッシャー（Ｇ２）で固定します。

ASSEMBLY FOR BOTTLE HOLDER

ボトルホルダーを取り付けます。ハンドルポストに仮止めされているボルト（Ｈ３）を外し、ボトルホルダーをセット。
外したボルト（Ｈ３）で固定します。

FIGURE -2

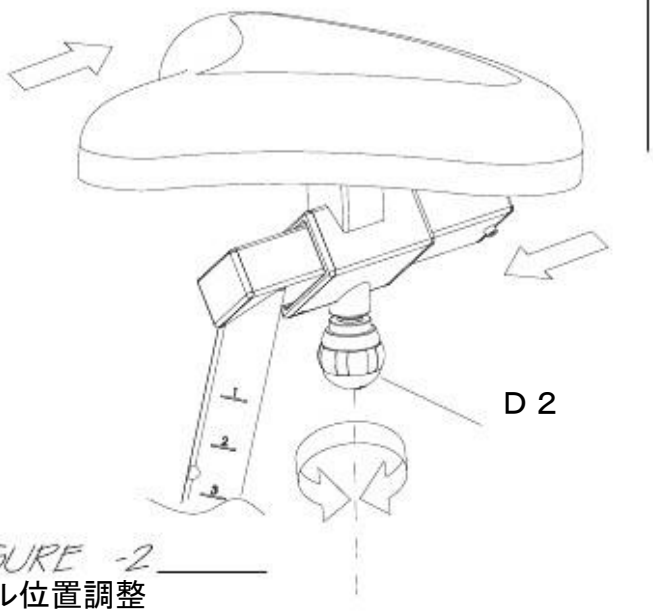
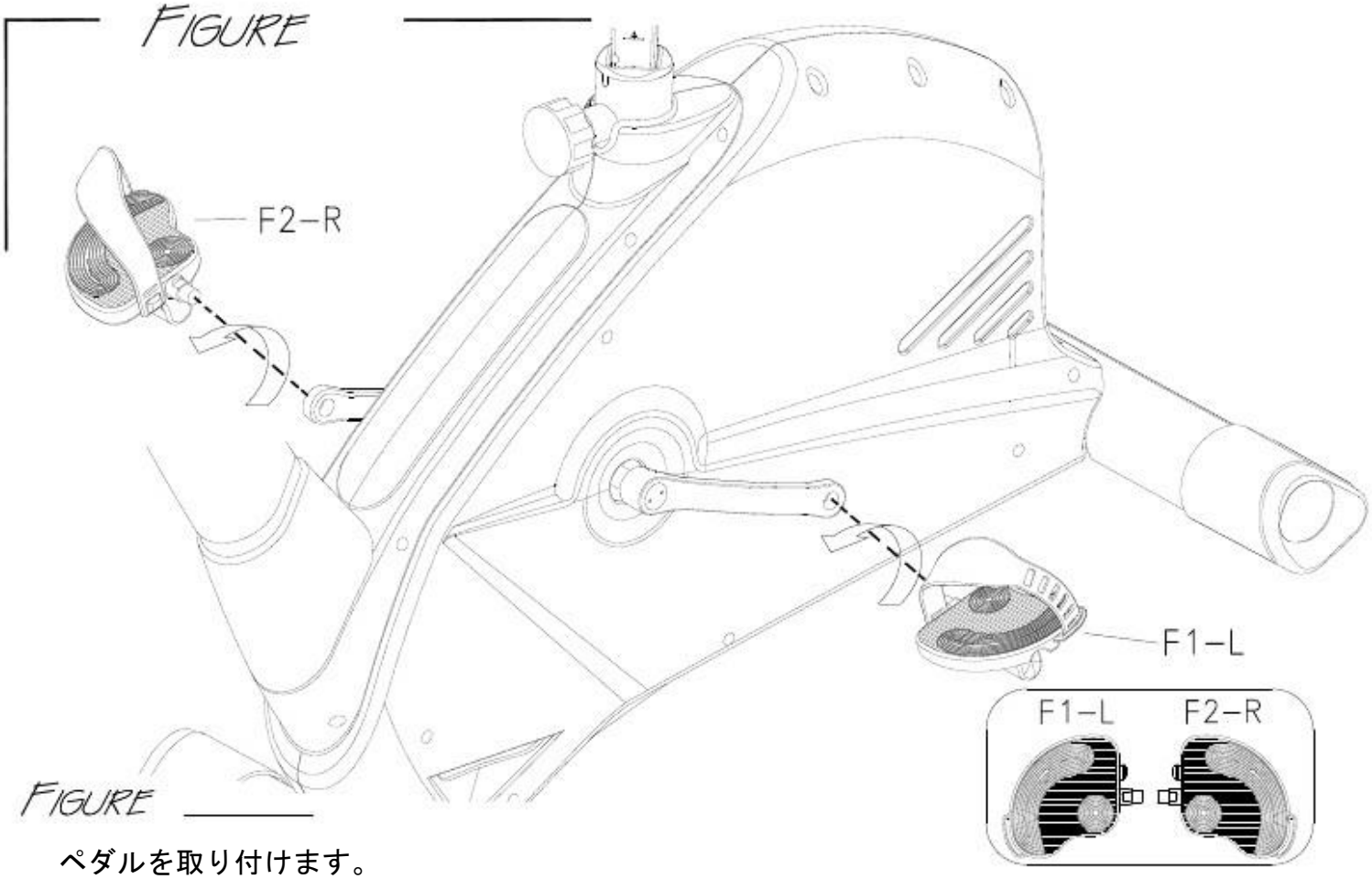


FIGURE -2

サドル位置調整

サドル位置調整ノブ（Ｄ２）を緩め適正な位置にセット後、ノブ（Ｄ２）で固定します。

FIGURE



FIGURE

ペダルを取り付けます。

　ペダルは、右･左があります。ペダルの軸に右（R）・左（L）と刻印があります。ねじ山の付け根を持ち取り付けます。クランク側のねじ山にまっすぐセットし手で２～３回転させた後、付属の工具でしっかり固定します。

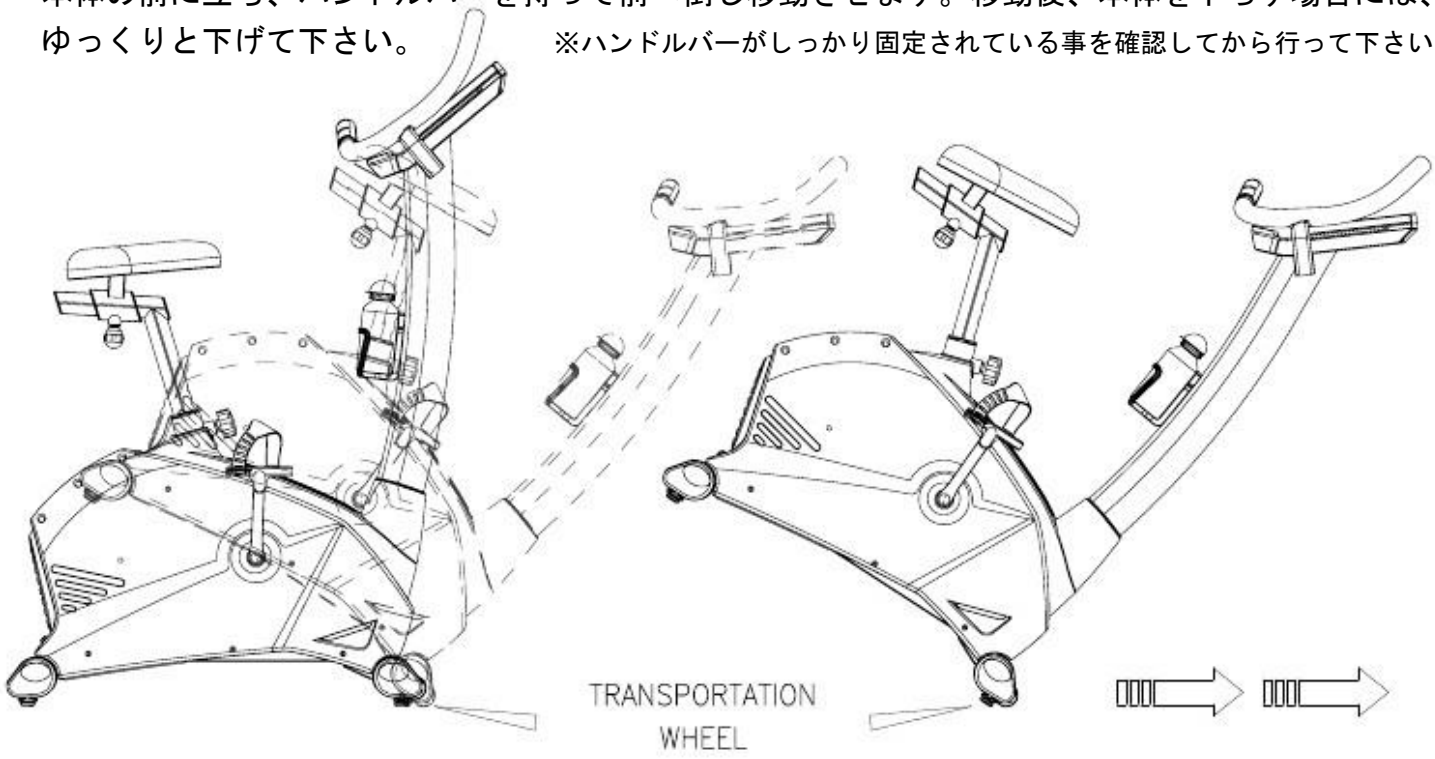
FIGURE

FIGURE

本体の移動方法

本体を移動させるには、フロントキャスターを使用します。

本体の前に立ち、ハンドルバーを持って前へ倒し移動させます。移動後、本体を下ろす場合には、ゆっくりと下げて下さい。　※ハンドルバーがしっかり固定されている事を確認してから行って下さい。



表示パネルについて

◆ボタン機能

Ｕ　Ｐ	各項目の目標値を設定する時または、負荷を調整する時に使用。（時計回りに回す）
ＤＯＷＮ	各項目の目標値を設定する時または、負荷を調整する時に使用。（反時計回りに回す）
ＥＮＴＥＲ	各項目の設定した内容を確定する時に使用。
START/STOP	運動の開始または終了する時に使用。個人データやプログラムを選択しないで運動を始める時に使用。（クイックスタート）
ＲＥＳＥＴ	表示や設定項目をリセットする場合に使用。
RECOVERY	運動終了後の体力診断を行う時に使用。

◆表示機能

ＴＩＭＥ	運動時間を表示 （設定範囲：０：００　～　９９：００　１分単位）
ＳＰＥＥＤ	運動中の速さを表示 （表示範囲：０．０　～　９９．９Ｋｍ／ｈ）
ＲＰＭ	運動中のペダル回転数を表示 （表示範囲：０　～　９９９　毎分）
DISTANCE	走行距離を表示 （表示範囲：０．０　～　９９．９Ｋｍ）
CALORIES	消費カロリーを表示 （表示範囲：０　～　９９０）
ＰＵＬＳＥ	脈拍数を表示 （設定範囲：３０　～　２３０）
ＷＡＴＴＳ	運動中の負荷値とワット数を交互に表示

電源の入れ方・切り方

入れ方・・・表示パネルのボタンを押す。またはペダルを回すと電源が入ります。
（ＡＣアダプターがコンセントにさしてある状態の場合）

切り方・・・運動終了後、ＡＣアダプターをコンセントから抜いて下さい。

使用電源について

この製品は、ＡＣアダプターをコンセントに差し込む事により操作が出来ます。
本体側の差込口は、後方下側にあります。
コードに引っかかり断線しないように充分ご注意下さい。

運動終了後、そのままの状態で４分経過すると省電力モードになります。
運動データは、保存されています。

運動を始めるには・・・

１．コンセントに電源コードを差し込みます。（または、２秒間ＲＥＳＥＴボタンを押します）
　　ピーと音が鳴り、表示パネルは図１の様に『８８．８』と表示されます。
２．ユーザ１～４を選択します。＋－キーで左右に回し選択し、ＥＮＴＥＲを押します（図３・４）
３．性別・年齢・身長・体重の順にデータを入力します。確定する時は、ＥＮＴＥＲを押します。
　　（図５～８）

図1

図2

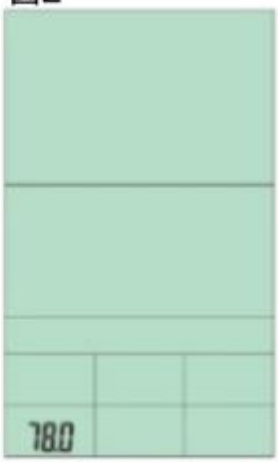


図3

図4

図5

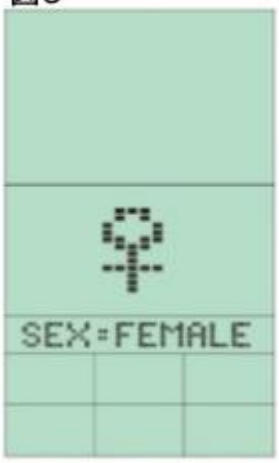
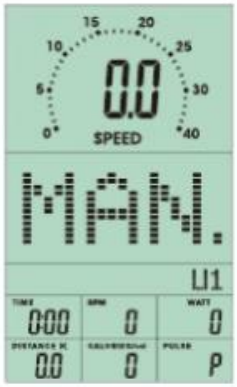


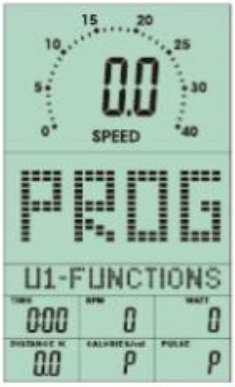
図6

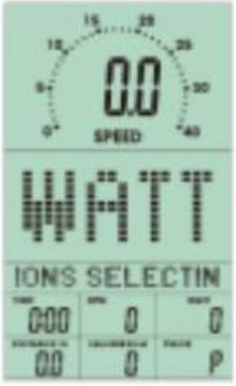
図7

図8

４．プログラムモードを選択します。
　＋キーを回すと画面がＭＡＮ（マニュアル）→ＰＲＯＧ（プログラム）→ＵＳＥＲ
（ユーザプログラム）→Ｈ．Ｒ．Ｃ（脈拍設定）→ＷＡＴＴ（ワット）の順番に切り替わります。





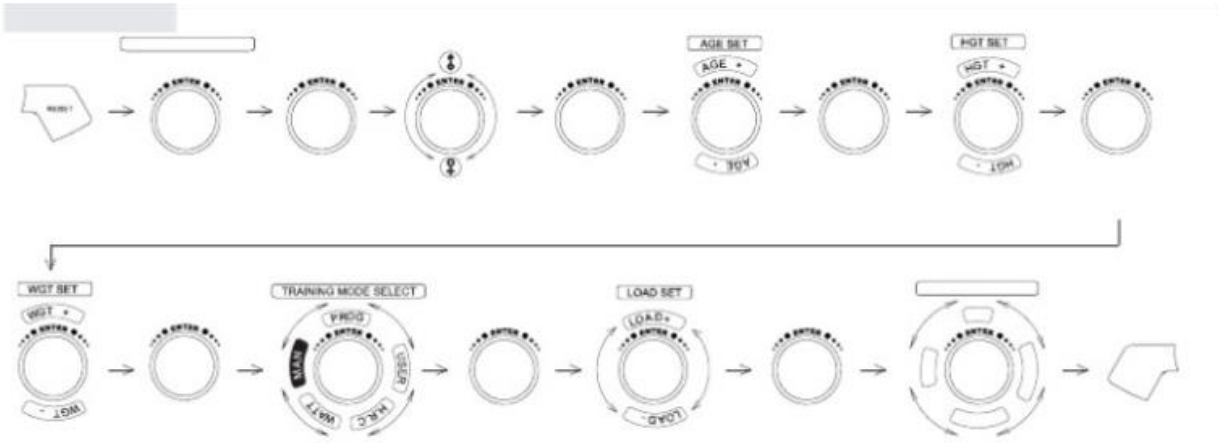


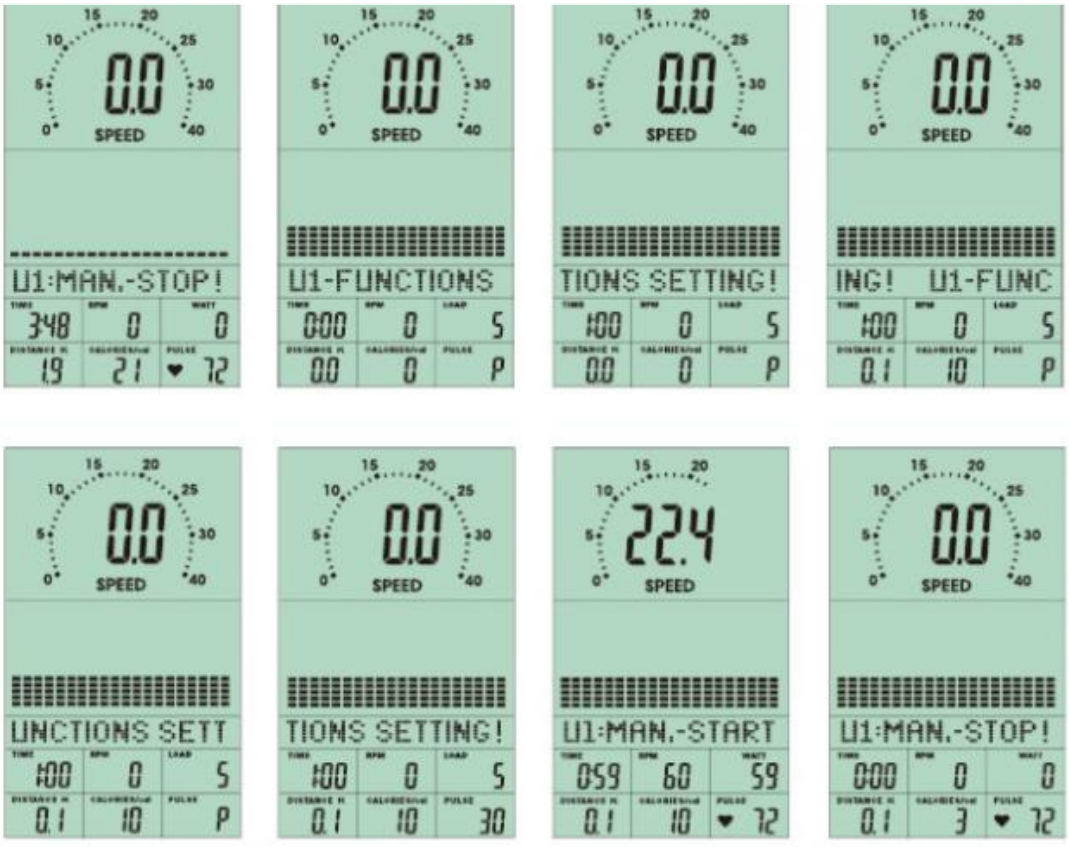
クイックスタート

１．電源を入れ、スタート／ストップボタンを押し運動を始めます。
ユーザ・性別・年齢・身長・体重を入力した後、スタート／ストップキーを押して運動を始める事も出来ます。（個人情報を入力して運動した方が、より正確な運動評価が出ます。）
※運動の途中で、負荷を変更する事も出来ます。
運動を終了するには、スタート／ストップボタンを押して下さい。

マニュアルモード

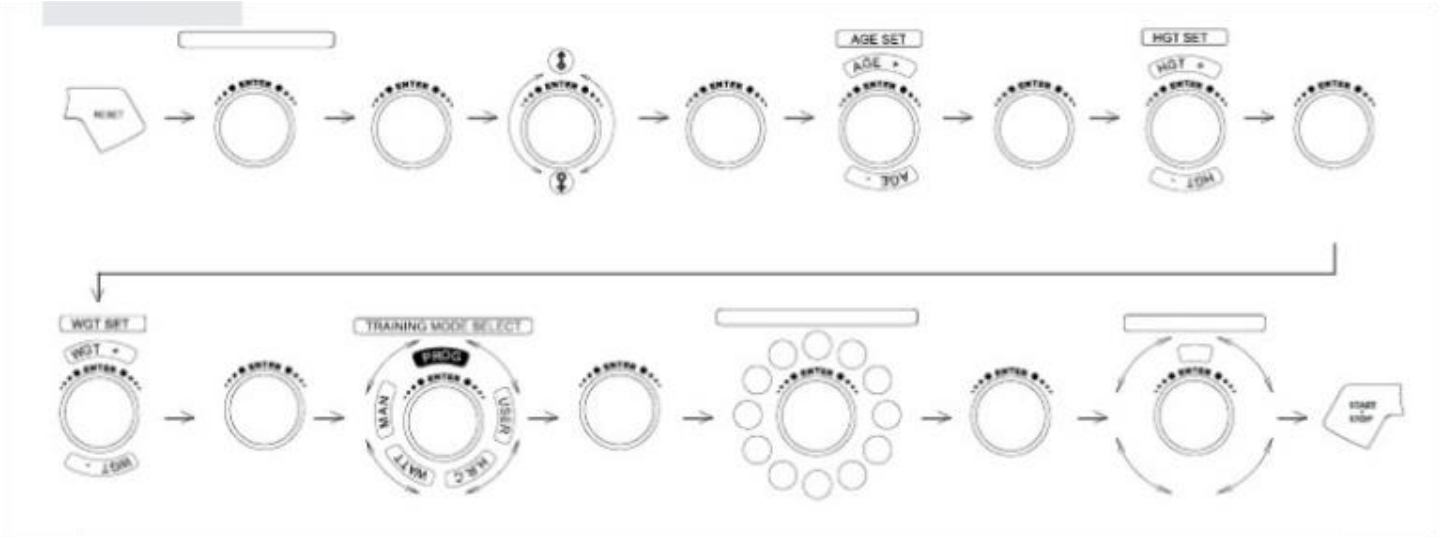
１．ユーザ１～４を選択後、性別・年齢・身長・体重を入力します。
２．運動プログラム　マニュアル『ＭＡＮ.』を選択後、ＥＮＴＥＲキーを押します。
３．ペダルの重さを設定し、ＥＮＴＥＲキーを押します。
４．目標値（時間・距離・カロリー・脈拍数）を設定します。ＥＮＴＥＲキーで項目を選択し目標を入力。（点滅している項目を入力する事が出来ます）
５．ＳＴＡＲＴ／ＳＴＯＰキーを押し、運動を開始します。
※運動の途中で負荷を変更する事は可能です。
６．目標値に達すると『ピー』と鳴り、速度表示も『０』となります。

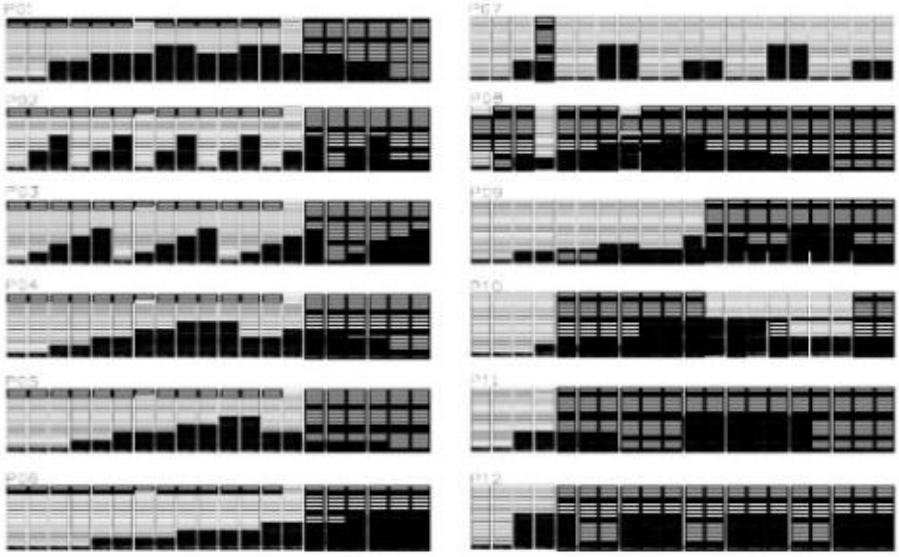




プログラムモード

１．ユーザ１～４を選択後、性別・年齢・身長・体重を入力します。
２．運動プログラム　プログラムモード『ＰＲＯＧ』を選択後、ＥＮＴＥＲキーを押します。
３．プログラムの種類（１～１２）を選択後、ＥＮＴＥＲキーを押します。
４．目標値（時間）を設定します。＋－キーで目標を入力。
５．ＳＴＡＲＴ／ＳＴＯＰキーを押し、運動を開始します。
　　※運動の途中で負荷を変更する事は可能です。
６．目標値に達すると『ピー』と鳴り、速度表示も『０』となります。





ユーザプログラム

自分でプログラムを作成し、運動するプログラム

１．ユーザ１～４を選択後、性別・年齢・身長・体重を入力します。

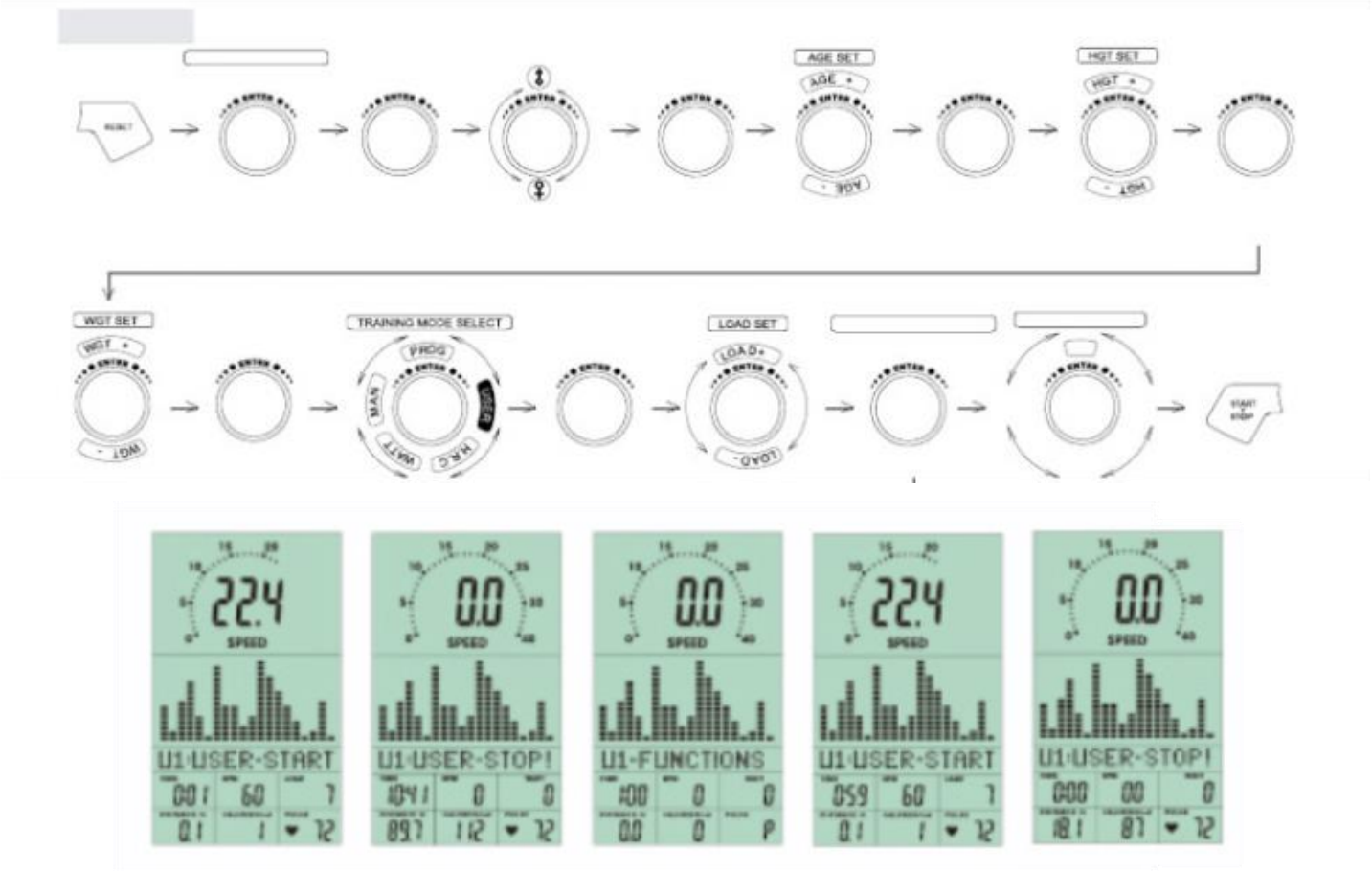
２．運動プログラム　ユーザモード『ＵＳＥＲ』を選択後、ＥＮＴＥＲキーを押します。

３．各ブロック毎に負荷を設定し、ＥＮＴＥＲキーを押します。負荷の設定が終了しましたら
ＥＮＴＥＲキーを２秒長押しします。（最大２０ブロック）

４．目標値（時間）を設定します。＋－キーで目標を入力。ＥＮＴＥＲキーで確定します。

５．ＳＴＡＲＴ／ＳＴＯＰキーを押し、運動を開始します。
※運動の途中で負荷を変更する事は可能です。

６．目標値に達すると『ピー』と鳴り、速度表示も『０』となります。



Ｈ．Ｒ．Ｃ（ターゲット脈拍）モード

設定した個人データを元に運動に最適な脈拍数を自動計算。

脈拍数に近づく様に負荷が自動的に変化し運動するプログラム。

１．ユーザ１～４を選択後、性別・年齢・身長・体重を入力します。

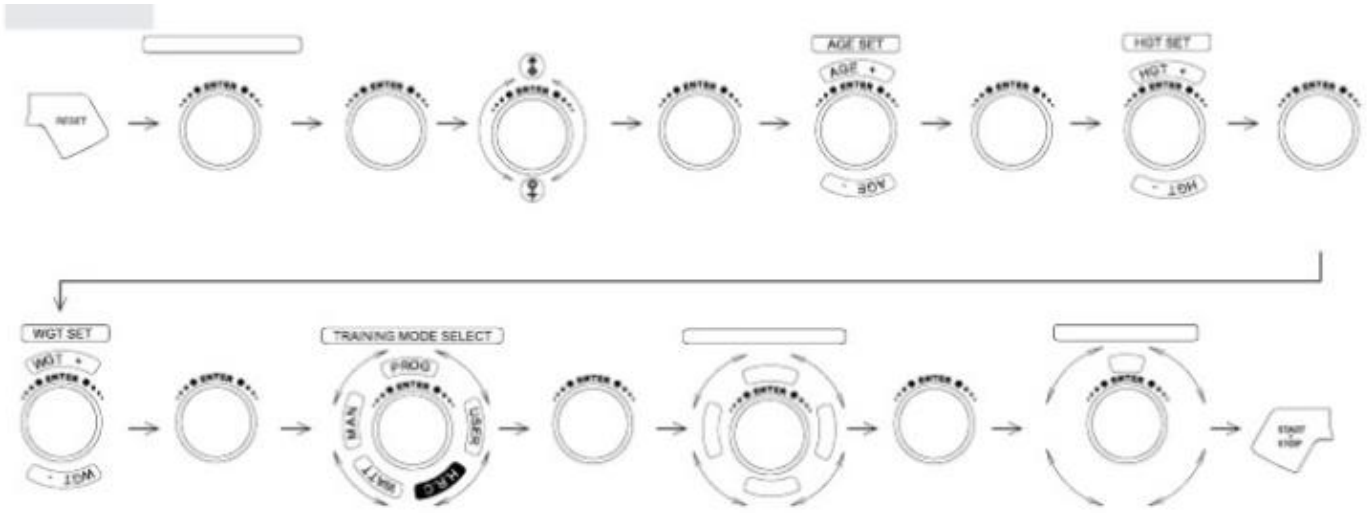
２．運動プログラム　ターゲット脈拍『Ｈ．Ｒ．Ｃ』を選択後、ＥＮＴＥＲキーを押します。

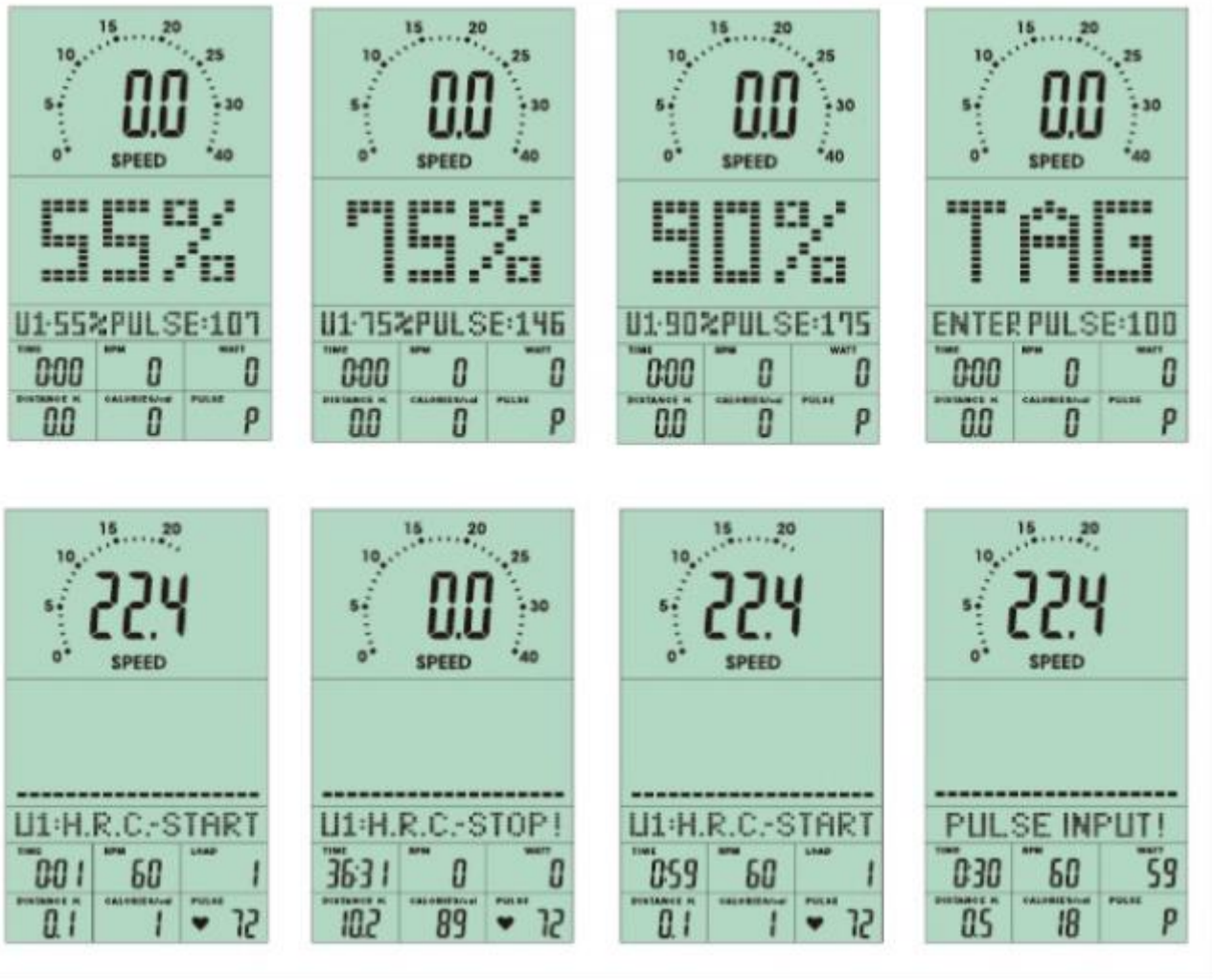
３．目標脈拍数　５５％・７５％・９０％・ＴＡＧ（脈拍数設定）を選択後ＥＮＴＥＲキーを押します。

４．目標値（時間）を設定します。＋－キーで目標を入力。

５．ＳＴＡＲＴ／ＳＴＯＰキーを押し、運動を開始します。
※運動の途中で負荷を変更する事は可能です。

６．目標値に達すると『ピー』と鳴り、速度表示も『０』となります。
※このモードは、脈拍センサーを握っての運動となります。

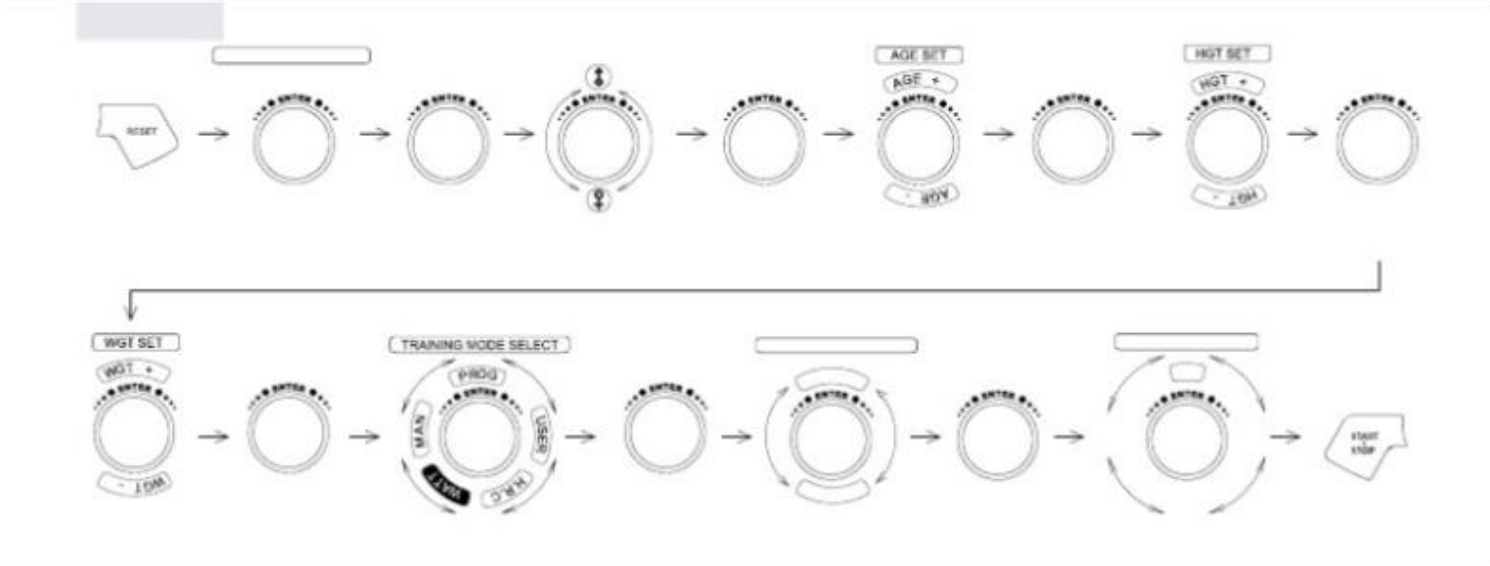


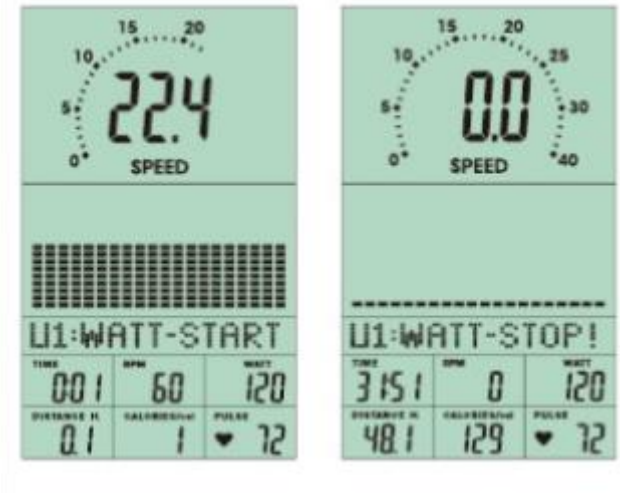


ワット

運動中にペダルの回転数が変わるとコンピュータ側で重さを判断し、自動的にペダルを増減します。運動量を一定に保ち運動する事が出来ます。

１．ユーザ１～４を選択後、性別・年齢・身長・体重を入力します。
２．運動プログラム　ワット『ＷＡＴＴ』を選択後、ＥＮＴＥＲキーを押します。
３．初期値は『１２０』となっています。１０～３５０の範囲内で設定し、ＥＮＴＥＲキーを押します。
４．目標値（時間）を設定します。＋－キーで目標を入力。ＥＮＴＥＲキーで確定します。
５．ＳＴＡＲＴ／ＳＴＯＰキーを押し、運動を開始します。
６．目標値に達すると『ピー』と鳴り、速度表示も『０』となります。





リカバリー機能

運動直後の脈拍数と回復後の脈拍数を比較し、運動能力及び回復力を判定する事が出来ます。
運動を定期的に行うと評価は向上します。このデータは、あくまでも目安としてお使い下さい。

運動終了後にＲＥＣＯＶＥＲＹボタンを押します。６０秒間脈拍数を測定しますのでハンドルを握ったままの状態で静かに待ちます。
測定後、回復力を『Ｆ１』～『Ｆ６』の６段階評価で表示します。

Ｆ１・・・最も優れている　　Ｆ６・・・劣っている

注意：４分間ペダルを回さないと表示パネルは、省電力モードになります。設定した項目はそのまま保存されています。
本機は、９Ｖ１ＡのＡＣアダプターを使用して下さい。
表示パネルが異常を起こした場合には、ＡＣアダプターを外し再度電源入れて確認して下さい。

トラブルがおこったら

ご使用中に異常が発生した場合、下記内容をご確認下さい。
トラブルが解消されない場合には、お買い求めの販売店・代理店にご相談下さい。

トラブル内容	原　　因	対　処　方　法
本体がぐらつく	１．床が平らでない。または前後部の脚の下に異物が入っている	異物を取り除く。平らな床面に設置する。
	２．後部固定脚の高さ調整が出来ていない	後部固定脚のエンドキャップを回し高さを調整する。
サドルが動く	１．サドルがしっかり固定されていない	サドル下のネジを確認し、緩んでいる場合には、締める
	２．シート調整ノブが締まっていない	シート調整ノブをしっかり締める
負荷が掛からない	１．負荷調整レバー側のワイヤーと本体側のケーブルの外れ	負荷調整レバーの取付方法を確認
	２．その他	販売店にご相談下さい
表示パネルが見えない	１．ＡＣアダプターがコンセントに差していない	家庭用電源にＡＣアダプターを差し込みます。それでも表示されない場合には、ＡＣアダプターが破損している場合がございます。 販売店にご相談下さい。
	２．表示パネルの破損	表示パネルの交換
運動中、数字が表示されない	１．本体側からのケーブルが接続されていない。	表示パネル裏側に本体コードと脈拍コードが接続されているか確認。外れている場合には接続。接続されていても表示されない場合には、販売店にご相談下さい。
脈拍が表示されない	１．本体からのケーブルが接続されていない	表示パネル裏側の脈拍コードが接続されているか確認。外れている場合には接続。接続されていても表示されない場合には、販売店にご相談下さい。
	２．両手で握っていない。	片手では、表示されません。両手でしっかり握って下さい。
	３．手が乾燥している	冬場等、乾燥している時期は、感知し難い場合がございます。手を湿らせた状態で握って下さい。

上記対処方法にて解消されない場合には、詳しい状況を販売店・代理店にご連絡下さい。

品　質　保　証　規　定

- ◆ 取扱説明書の注意事項に従って正常な使用での故障に限り、お買い上げ後１年間無償で修理致します。（消耗品を除く）
- ◆ 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品に本書を添えてお買い上げ販売店にご相談下さい。（※本製品は家庭用の為、業務用としてご使用の場合は保証対象外となります）
- ◆ 保障期間内でも次の場合は、有料修理となります。
  - ① 誤用・乱用及び取扱不注意により故障
  - ② 火災・地震・水害及び盗難等の災害により故障
  - ③ 不当な修理や改造による故障
  - ④ 使用中に生じた傷などの外観上の変化
  - ⑤ 消耗品及び付属品の交換
  - ⑥ 本証の提示が無い場合及び必要事項（お買い上げ日・販売店）の記入が無い場合
- ◆ 本証は日本国内の屋内においてのご使用のみ有効です。本証の再発行は致しません。大切に保管下さい。
- ◆ この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品　質　保　証　書

◆当社ではお買い上げ商品について万全をつくしております。万一故障が生じた場合は、本保証書に必要事項をご記入の上お買い上げ販売店に修理をご依頼下さい。

商品記号	REMARK　B870P　マグネットバイク	保証期間	お買い上げ日より1年間
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日		
ご住所　〒			
ご氏名			
TEL　　（　　）		FAX　（　　）	
故障状況			
販売店			

※お買い上げ日・販売店名等のご記入がなきものは無効となります。

◆国内販売元◆

株 式 会 社　リ ン エ イ

〒432-8055　静岡県浜松市南区卸本町２５番地

TEL:053-441-2128（代）　FAX：053-441-7634